



平成27年3月15日  
内閣府（防災担当）

山谷内閣府特命担当大臣（防災）とベツアレル・トライバー・イスラエル国  
防衛省国家危機管理局長との会談



本日15日、午後2時35分から約15分間、山谷内閣府特命担当大臣（防災）（第3回国連防災世界会議議長）は、ベツアレル・トライバー・イスラエル国防衛省国家危機管理局長と会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

1. 冒頭

山谷大臣から、東日本大震災に際し、イスラエルからの医療チーム等を派遣いただいたことについて改めて謝意を表するとともに、訪日について歓迎の意を表した。

ベツアレル局長からは、国連防災世界会議における山谷議長の議事進行について感謝の意を表するとともに、いかに東日本大震災が大変であったのか、また、イスラエルから派遣した医療チーム等が活躍したことを確認できた旨の発言があった。

2. 防災関係

ベツアレル局長から、世界の国々が協調して災害対策を行っていく必要があり、今後とも様々な分野で協力関係を拡大していきたい旨の発言があった。

山谷大臣からは、自衛隊、警察、消防の普段からの連携が重要であること、グローバル化の時代の中で国際的な連携も大切であること、被害の最小化という観点で「防災の主流化」を進めていきたい旨の発言があった。